

残念ながら県民不在の対決姿勢先鋭化



みかづき会が主催する「いろは親水公園」の定期清掃に参加

補予定者が、初日か
すよ。ら宙ぶらりんな状態に

受賞候補予定者に失礼

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

県政に関するご意見ご要望はお気軽に！



★鈴木正人のホームページや、フェイスブックからもお気軽にご連絡ください。
HPアドレス <http://masato.trans.ne.jp/>
検索エンジン → **鈴木正人**
☎ 048-476-7525 または FAX 048-476-7526
メールアドレス yawaraka4354@indigo.plala.or.jp まで

彩の国功労賞も審議未了で廃案
第二回定例会も終わりました。正直、最近の県議事は残念でならない。事ばかりが起こっている。普通、九月定例会と例は、補正予算案など議案の数も比較的審議され、無

私もお出向する各会派に審議される正式な機会がない。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

彩の国功労賞の候補者について、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。これは、候補者本人や関係者から「失礼」の声が聞かれています。

やまわらめか新聞

第97号

発行者 無所属県民会議 県議員鈴木正人 〒353-0002 志木市中宗岡1-1-2 TEL048-476-7525 FAX048-476-7526



今年も「ふれあい田んぼ」で子供達と一緒に稲刈り。

県政レポート2018 **suzuki masato No.97**
埼玉県議会議員 無所属県民会議
鈴木正人
ホームページ <http://www.trans.ne.jp/masato/>

平成30年 第三回定例会を振り返って 彩の国功労賞案が審議未了で廃案

フジテレビ「タイキョの瞬間」に出演



以前議会で取り上げた事からフジテレビに取材を受け、河川敷の不法占有（小屋や棧橋）について放映されました。

河川敷の公有地に勝手に小屋を建てたり、棧橋を設置、畑を作って耕作する事は法律違反であり、堤防の破壊防止や治安の不安解消のためにも撤去が必要であると考えております。

荒川右岸でも市内200メートルの範囲で、本年3月に簡易執行という形の強制撤去がされましたが、いまだ第二パークゴルフ場付近では、不法占有している小屋や棧橋が残っております。

河川事務所も自主撤去を呼びかけているようですが、とても応じるとは思えません。何度もテレビで取り上げられておりますので、引き続き簡易執行をするよう要望し続けております。

無所属県民会議548項目の来年度予算要望を知事に提出



平成30年第三回（9月）定例会は、鶴ヶ島市の農業大学校跡地北側産業用地を優先交渉事業者の重機大手のIHIに71億5000万円で売却する議案や、一般国道254号と国道463号と交差する橋りょうの上部工事費用9億396万円など33議案を可決（同意）し閉会しました。

なお、ワールドカップで活躍した埼玉県ゆかりの4選手と監督の5人への彩の国功労賞の贈呈については、自民党県議団から「選考基準があいまい。他にも表彰に値する人物がいる」との事から、人事案が審議される事もなく廃案となってしまいました。

適切な時期に表彰されてこそ意味のある彩の国功労賞。いよいよ議会の審議すら出来ない事態にまで陥ってしまいました。名前の上がった選手も困惑している事でしょう。非常に残念です。



議員定数削減を求め共同提案を提出するも否決

議員定数や区割りなどについては、「県議会定数・選挙区等検討協議会」が開かれ3回協議をしたものの、各会派からの案を聞いて報告書を議長に提出しただけで終わってしまいました。

我が会派「無所属県民会議」は、議会自らが身を切る改革が必要であろうという事で、現在の定数93名から87名に削減し、飛び地を無くして一票の格差を2倍未満に収める案を提案しました。

その後、同じく身を切る改革を訴えた、「立憲・国民・無所属の会」と共に妥協した案をつくり、93名から91名の2議席減、秩父を除けば格差2倍未満という議員定数削減案を提案しましたが、賛成少数で否決されてしまいました。

我が志木市議会（平成8年では定数26名から現在は14名。現在一人欠員で13名と半分）を始め、各市町村議会は議員自らが身を切る改革を行い、議員定数を削減してその分の財源を市民サービスの向上に回してきました。

残念ながら、県議会では今回定数は現状維持という結果となってしまいました。

無所属県民会議は、大人の引きこもり対策や知的障害者の県職員への雇用促進など、部局別301項目と地元要望合わせて548項目の来年度予算要望を知事に提出しました。



8月上旬に香川市長と共に知事室を訪れ、国道254号和光富士見バイパスの早期開通に向けて、志木市の地上部分の工事早期着工、また中央通停車場線の早期整備に向けて、用地買収のための当初予算案費用だけでなく予算の積み増しの要望を上田知事に行いました。

その結果、その場で二つの案件について上田知事より目に見える形で進むよう知事から担当課に指示があり、今年度中に国道254号バイパスの志木市における地上部分の工事開始と、中央通停車場線の用地買収の捻出のための最大限の努力をするとの回答を得ました。

その後、254号バイパスの年明け頃の工事開始決定と、中央通停車場線の追加用地買収が確保されました。

国道254号は今年度中に志木市の地上部分の工事がスタート



国道254号和光富士見バイパスは、現在行われている国道463号（浦所バイパス）との交差（下南畑）する橋りょう下部工事だけでなく、上部工事費についても9月定例会で補正予算9億396万円が付きまして。

そして、いよいよ志木市分の地上工事も、上宗岡2丁目の佃堤脇の道路から、袋橋通りまでの約160m区間で年明け頃から工事が始まる事が決定しました。近隣の皆様方には、丁寧な説明会が追加で開かれる予定です。



水害対策のため柳瀬川土手に土のうを設置

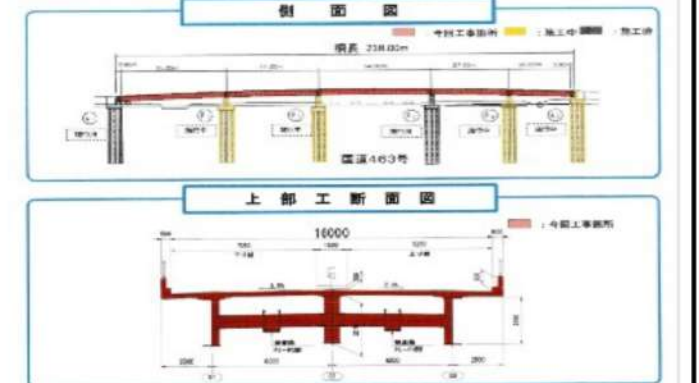
柳瀬川 土のう積工について



台風やゲリラ豪雨による柳瀬川の堤防決壊を心配し、近隣自治会などから河道掘削の水害対策の要望を受けておりました。

対策として、河道掘削前に高橋より約200m下流（左岸側は170m）に、土のうを設置。川の決壊を未然に防ぐ効果を期待し、増える台風やゲリラ豪雨対策を緊急に行いました。

国道463号と交差する下南畑の橋りょう上部工事も決定！



埼玉県総合リハビリテーションセンターを会派で視察

上尾市にあるセンターは、リハビリテーションの県内の中心施設として、更生相談から医療、職能訓練、社会復帰までの総合的なリハビリテーションを実施しています。

松弥生教育長に対して、委員長の説得して、出席をさせなかったというオマケ付き。

社会の手本となるべき議会がこれでは、いろいろ問題など解決しづらいと感じましたね。障害者雇用増し問題の真相を究明し、再発防止を本気でさせた議案を乱発。もう数さえあれば何

「議会の決議を遵守することを求める決議」に関する決議は、最近では全会一致を指さなくなりました。発議に際して、本来自議会の尊重を重んじて、上田知事

も前回の「全国知事会」の決議を問う決議に、賛成者の数に差が出た。全会一致でなくとも、議会の決議を問う決議に、賛成者の数に差が出た。全会一致でなくとも、議会の決議を問う決議に、賛成者の数に差が出た。

九月定例会では、議案も少ないので、混乱の無い議会を多少は期待していたんですね。県民不在、県民とは関係ない政局絡みの対立が深まらない事を望んでおりました。

でも結果は、単独でも半数の議席を持つ自民党県議団が、統一地方選挙や知事選も近づいている事からなのか、さらに上田知事と県執行部に対して攻勢を強めるといった結果となりました。

た障害者雇用増し問題は、職員に障害者手帳の確認もせず、勝手に障害者としてカウンタに行政が障害者を積極的に雇用していかの数字の水増しをしてきたという大変遺憾なものです。

この障害者雇用増し問題は、何と積極的指導監督しなければならぬ。厚労省を始め、国で三十三の行政機関、全国で三十七府県で発覚したんですよ。

埼玉県でも、教育委員会で水増し問題が発覚したんですね。教育委員長も陳謝し、第三者委員会をつくって問題の徹底究明、再発防止、教育現場における障害者が雇用されても仕事をしやすい環境づくりを進めると議会でも答弁したものの、自民党県議団は納得せず、小松教育長に責任あり、辞職が必要と問責決議案を提出して可決させました。

「教育長に出ない方がよい」と言っている。一方で小松教育長は「委員長から出ない方がよいので、はとご指南いただいた」と二人の言っている事と二人の言っている事が全く違う映像が、テレビニュースで明らかになり、ある種のむなしさすら感じましたよ。

「教育長に出ない方がよい」と言っている。一方で小松教育長は「委員長から出ない方がよいので、はとご指南いただいた」と二人の言っている事と二人の言っている事が全く違う映像が、テレビニュースで明らかになり、ある種のむなしさすら感じましたよ。



議会改革は全く進まず、県側追及の決議が乱発！

教育長の問責決議案が可決

監査報告にまで決議で応酬

埼玉台湾総会の国慶節祝賀会に出席